

〔春陽会 通知〕（会員向け葉状）

・春陽会事務所移転お知らせ

今回春陽会事務所を左記に移転致しましたので御案内申し上げます。
昭和三十二年一月一日

東京都世田ヶ谷区成城町三九六番地

南大路 一

春陽会

・新事務所春陽会会報 第一号 昭和32・1・1

謹賀新年

改春と共に諸家御愈々御清祥の御事と御祝い申し上げます。

旧年十二月二十三日、東京日比谷 松本楼に於て会員総会を開き、静岡の小栗（一）、松本の関（一）両氏を加え、三十一年度掉尾の緊張した会合となり、折から新帰朝の横堀（角次郎）氏を迎え、又事務所交代の水谷（清）、藤野（龍）両氏の歓送、水谷氏の外遊を送る等々。これに対して高田（力蔵）、三雲（祥之助）、岡（鹿之助）氏等の歓送迎の祝福の言葉があり多彩な一夜の歓をつくしました。

◇当日の決定事項は左の如くです。

1 事務所移転の件

事務所 南大路 一

会計局 木本 晴三

助手 三井 永一

後見 藤野 龍

（十二月三十一日を以て新事務所発足を外部へ発表します）

2 会費値上げの件（略）

3 決算報告（略）

4 石版画の制作・頒布の件

石版画予約の成績は諸家の熱意により順調に進行しておりますが、いまだ御返事のない方も多く此の際諸家の責任が平均して行われる様、ふるって御予約願います。

尚、この石版画事務に関しては引継の煩多を避けるため旧事務所（水谷）に於て続けて行います。

5 新会員の件

絵画部

井上重生、大嶺政敏、五味秀夫。

版画部

清宮質文。

6 長野縣にて春陽会展開催の件

伊川、関両氏の提言により三十四回展大阪終了後、長野市、松本市に於て、信濃毎日新聞主催・春陽会展開催の申込みあり。詳細事項決定次第開催を承諾。

7 『春陽帖』ポスターの件

前委員会に於て、第三十四回展のポスター（駒井哲郎）、『春陽帖』（伊藤善）両氏に委嘱しました。

8 厚生資金の件

三雲、伊川両氏の発言により厚生資金募集の提案があり。係、方法等委員会附記。

以上
春陽会

1957 January
昭和 32 年 1 月

南大路事務所に移管

〔報道〕

倉庫、講堂で展覧会
都美術館の改築に悩む美術団体

上野公園の都美術館は廿九日の都議会で最終的に決定した改増築費二億五千万円で、来る六月中旬から改築に着工することになり、約十ヶ月にわたる工事中、毎年同館で開かれることになっている一般公募展の開催があらゆるやぶまれていたが、工事期間中は一階の倉庫などを開放して会場にふりむけることになり一応落着く見通しができた。

工事は今までの二階壁面を全部壊し鉄骨をあげて三階にし、屋根は銅葺きにして採光は人工光線だが、これで増える坪数は約二千坪だから全部で五千八百坪になる。

ところで壁と天井を壊して鉄骨を上げるまでの三、四ヶ月間は工事が最も荒く、いままでの二階会場は当然使用出来なくなるので、六月から八月までの会場使用契約をすで行っている廿四団体展（女流画家協会、旺玄会、朔日会、第一美術、毎日書道展など）は開催不能になるのではないかとみられていたが、一階の彫刻室、工芸室はそのまま残るし、佐藤記念館、講堂、倉庫を空けてマジ切りをすれば今までの会場の八〇%ぐらいの広さができるので、臨時にケ光灯をつけて使うことになり、美術館側は廿

七日朝十時から廿四団体の代表者を集めて説明、この構想で展覧会を続行することになった。（略）

（〇〇新聞 昭和三十二年三月）

1957 January
昭和 32 年 1 月

南大路事務所に移管